

## 桶川版スーパーシティ：コンパクト・プラス・ネットワーク

**概要** 本市は、駅を中心に同心円状に都市化した歴史をもち、人口減少、少子高齢化など社会環境の変化に起因する課題も地区によって差異がみられる。「社会環境の変化に順応した持続可能なまちづくりの推進」を図るため、地区特性に応じ、都市・生活機能等を集積する拠点をバランスよく配置し、各拠点を公共交通で連結するコンパクト・プラス・ネットワークの形成を図る。

**課題**

- ◆ 中心市街地の「賑わい」の創出と、人口減少・少子高齢化を見据えた「地域づくり」
- ◆ 「強さ」と「しなやかさ」を備えた強靱なまちづくり
- ◆ コロナ禍など社会環境の「変化を力」に変えるまちづくり

	コンセプト（目的）	目標時期	検討したい取組（施策）	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地区特性に応じ拠点を配置し、賑わいや地域力の維持向上を図る	中～長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 民間活力を導入した公民連携による拠点施設の立地など、民間企業のノウハウを活用した中心市街地の賑わいづくりや地域力の向上</li> <li>◆ ポスト・コロナ時代を見据えた市場変化に順応した拠点形成と地域経済の活性化</li> </ul>	◆ 先進事例、市場動向や民間活力導入可能性の検討
スマート	拠点施設への未来技術の実装	中～長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 拠点施設へのデジタル技術実装による利用者への質の高いサービスの提供や管理運営の省力化、コスト縮減（公共施設の利用予約や決済へのデジタル技術の導入等）</li> <li>◆ ICT技術の活用による地域の付加価値の向上と地域課題の解決（道の駅における人に頼らない観光案内等）</li> </ul>	◆ デジタル技術の実装事例とその効果
レジリエント	大規模自然災害発生時における強靱化	中～長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 拠点施設への再生可能エネルギーや蓄電池の導入などによる地域防災力の向上</li> <li>◆ 圏央道桶川北本ICのポテンシャルを活かした企業との連携及び道の駅「（仮称）おけがわ」の整備による地域力と防災力の向上</li> </ul>	◆ 再エネ技術の最新動向

圏央道桶川北本ICのポテンシャルを活かした企業との連携による防災力の向上

生涯学習・市民交流・子育て支援機能の導入による地域力と防災力の向上  
民間活力を導入した拠点づくり



道の駅「(仮称)おけがわ」の整備による地域力と防災力の向上

小学校跡地を活用した拠点整備による中心市街地の賑わいづくりと地域力の向上  
民間活力を導入した拠点づくり



イメージ図です。

市内循環バス等の公共交通により各拠点をつなぐ

